

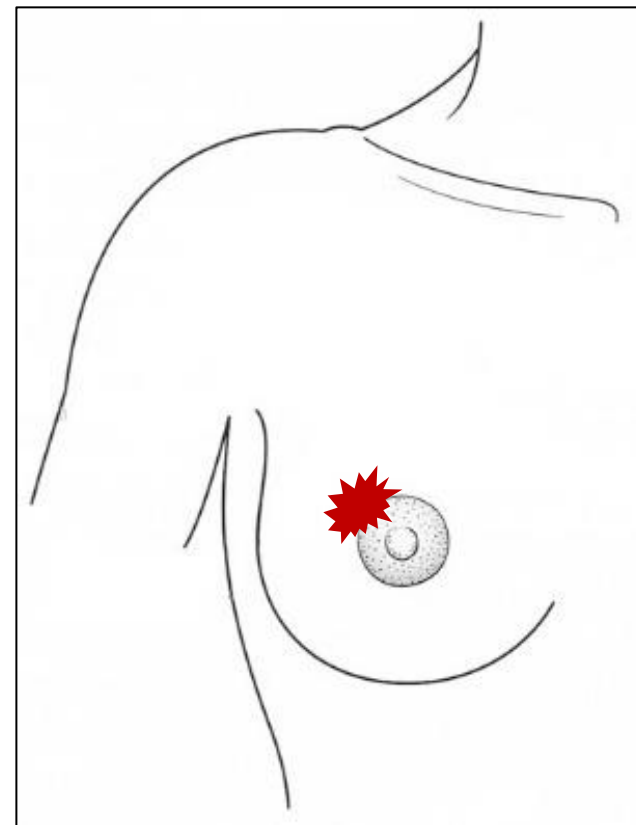
周術期化学療法最適化 ～診断部門～

北海道がんセンター 乳腺外科
山本 貢

症例

- 31歳 女性
- 右乳房腫瘍を主訴に受診
- 右乳房 EC区域
Φ2.0cmの腫瘍を触知

- 既往歴 なし
- 家族歴 母：乳癌(45歳時)
母方祖父：前立腺癌
- 月経状況 閉経前



Q：初めに考えることは？

A：治療が必要かどうか。

悪性なら治療必要

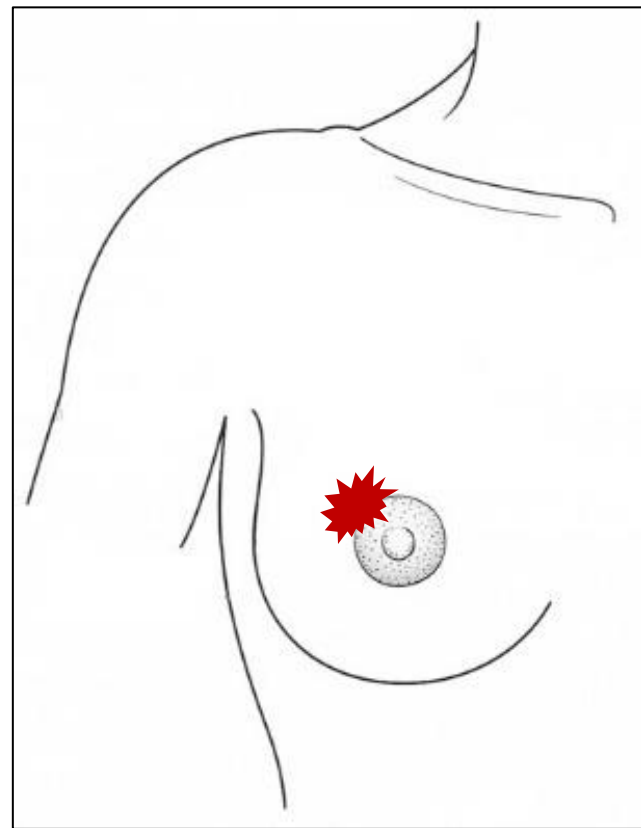
良性なら治療不要

(QOLを低下させていれば治療が必要なこともある)

Q：良悪性の鑑別のためにどんな検査を
しますか？

症例

- 31歳 女性
- 右乳房 CE区域 $\Phi 2.0\text{cm}$
- 穿刺吸引細胞診：悪性(ductal ca.疑い)
- 既往歴 なし
- 家族歴 母：乳癌(45歳時)
母方祖父：前立腺癌
- 月経状況 閉経前



治療開始前に必要な情報

- 良悪性の鑑別
- 浸潤の有無
- 遠隔転移の有無

- 術前化学療法・抗HER2療法の適応があるか
 - サブタイプ (ER, PgR, HER2)

Q：以下を明らかにするために、
どのような検査をしますか？

- 良悪性の鑑別
- 浸潤の有無
- 術前化学療法・抗HER2療法の適応があるか
 - サブタイプ (ER, PgR, HER2)

- 遠隔転移の有無

Q：術前化学療法の方針になりました。
次に何を考えますか？

化学療法 →



手術 →



(化学療法)
(放射線治療) } →

Q：術式はどうやって決めますか？

| | 一部 | 全部 |
|--------|-----------|--------------------------|
| 乳房 | Bp | Bt Bt(SSM) Bt(NSM) |
| 領域リンパ節 | SN | Ax |
| オプション | TE、RRM など | |